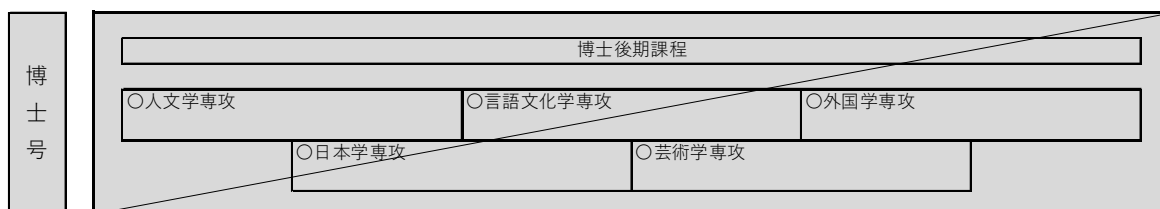


令和4（2022）年度 大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻 博士前期課程

学生募集要項

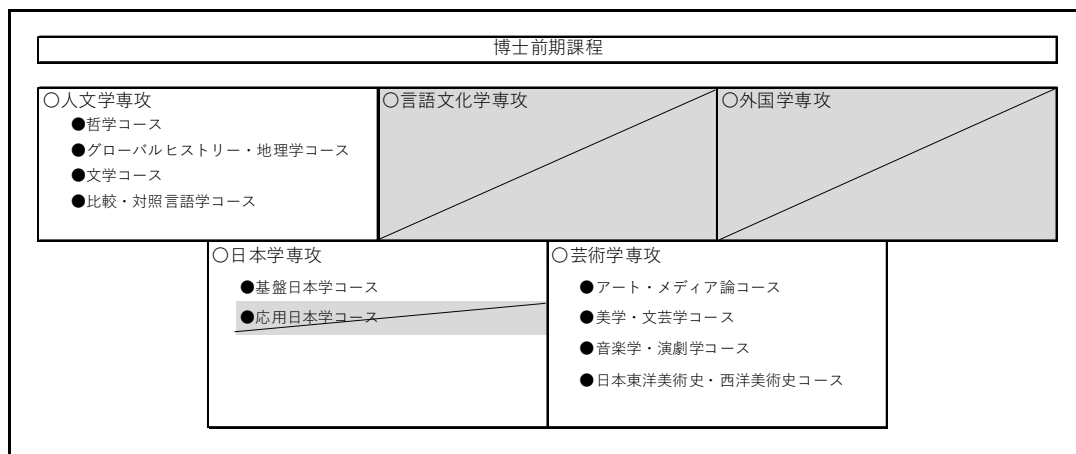
この募集要項は「人文学研究科博士前期課程 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻」に出願するためのものです。
人文学研究科の課程については以下の表を参考にしてください。

博士課程



取得できる学位

修士号



新型コロナウイルス感染症の影響により記載内容に変更が生じた場合は、随時、文学研究科 Web サイト(<http://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/graduate> ホーム / 入試・入学案内 / 大学院関係入試)でお知らせしますのであわせてご確認ください。

目次

はじめに	1
大阪大学人文学研究科の概要	2
人文学研究科アドミッション・ポリシー	4
I 共通事項	6
1. 大阪大学大学院人文学研究科人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻の修業年限及び修了要件	
2. 専攻・コース、選抜区分及び募集人員	
3-1. 出願資格【一般選抜】	
3-2. 出願資格【外国人留学生選抜】	
3-3. 出願資格【社会人特別選抜】	
4. 入学料及び授業料	
5. 長期履修学生制度	
6. 個人情報の取扱い	
7. 注意事項	
II 一般選抜（秋期試験・冬期試験）	10
1. 選抜方法	
2. 出願手続	
3. 出願書類	
4. 試験期日及び試験会場	
5. 合格者発表	
6. 入学手続	
【表1】一般選抜（秋期試験）外国語試験の種類、専門試験の内容	
【表2】一般選抜（冬期試験）筆記試験の内容	
III 外国人留学生選抜	20
1. 選抜方法	
2. 出願手続	
3. 出願書類	
4. 試験期日及び試験会場	
5. 合格者発表	
6. 入学手続	
【表3】外国人留学生選抜 専門試験の内容	
IV 社会人特別選抜	27
1. 選抜方法	
2. 出願手続	
3. 出願書類	
4. 試験期日及び試験会場	
5. 合格者発表	
6. 入学手続	
【表4】社会人特別選抜 筆記試験の内容	
各コース・受験分野等問い合わせ先	裏表紙

はじめに

令和4（2022）年4月1日、大阪大学は、大学院文学研究科および言語文化研究科を統合・再編し、5つの専攻（人文学／言語文化学／外国学／日本学／芸術学）から成り立つ「人文学研究科」を新設します。

人文学研究科の令和4（2022）年4月入学者を対象とする学生募集は、課程・専攻（日本学専攻はコース）ごとに行うため、学生募集要項、入試日程及び選抜方法等がそれぞれ異なりますので注意してください。

この学生募集要項は、人文学研究科博士前期課程人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻に出願するための学生募集要項です。

なお、人文学研究科博士前期課程人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻の入学試験は、【現】文学研究科が実施します。出願書類の受理、受験票等の発送、合格者発表などの入学試験の運営並びに入試情報の提供等は、【現】文学研究科が令和4（2022）年3月31日まで担当しますのでご留意願います。

令和4（2022）年4月入学者を募集する人文学研究科の各専攻（コース）と入学試験を実施する研究科（専攻）は、次の表を参照してください。

令和4（2022）年4月入学		
【新設】募集する専攻（コース）		入学試験を実施する【現】研究科
人文学研究科	○ 人文学専攻	文学研究科
	○ 日本学専攻（基盤日本学コース）	
	○ 芸術学専攻	
	言語文化学専攻	言語文化研究科 言語文化専攻
	外国学専攻	言語文化研究科 言語社会専攻
	日本学専攻（応用日本学コース）	言語文化研究科 日本語・日本文化専攻

その他留意事項

- 人文学研究科の新設に伴い、文学研究科及び言語文化研究科各専攻の学生募集を停止します。
- 【現】文学研究科の出願を検討されていた方は、この学生募集要項により、【新設】人文学研究科人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻に出願してください。
- 人文学研究科博士前期課程人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻の入学試験については、令和4（2022）年度募集（令和3（2021）年度に実施する入学試験）に限り秋期試験（**11月**）と冬期試験（2月）により実施しますが、令和5（2023）年度募集（令和4（2022）年度に実施する入学試験）以降は、秋期試験（**9月**）と冬期試験（2月）により実施する予定としています。

大阪大学大学院人文学研究科の概要

(大学院文学研究科・言語文化研究科の統合・再編)

2022年4月1日、文学研究科と言語文化研究科が統合・再編し、新しく5つの専攻を包括した「人文学研究科」として生まれ変わります。思想・歴史・文学・言語文化・社会・芸術など多領域にわたり超横断的な学びの場を提供し、国際的な相互理解を推進する研究者・高度専門職業人を育成します。



■人文学研究科新設の背景・ミッション

新研究科では、安定した教育プログラムを提供する5専攻群（人文学／言語文化学／外国学／日本学／芸術学）とともに、社会学連携活動を実施したり研究グループを立ち上げるなど、5専攻を横断して研究科全体の研究・教育体制を俯瞰し、共通科目や学位審査等を統括する組織として「人文学林」を新たに設置します。

「人文学林」では、3つの学問分野と4つの地理的エリアを組み合わせ、12に区分された「学術マトリックス」を設けており、教員はその12の区分に配置されています。学生は所属専攻の垣根を超えてそれぞれの興味関心に従ってその区分を選択することで、専攻を超えた交流や研究の振興、さらには新たな学問分野の創出が可能となります。

■5専攻紹介

人文学専攻 「人間とは何か」を探求する人文学 Humanities の継承と発展

次の4コースにより、「人間性」を探求するとともに、現代の諸課題にも取り組みます。①哲学コース（哲学哲学史、科学技術社会論、臨床哲学、中国哲学、インド学・仏教学）、②グローバルヒストリー・地理学コース（東洋史学、西洋史学、人文地理学）、③文学コース（テキスト表現論 [英米文学、ドイツ文学、フランス文学、中国文学]、テキスト環境論）、④比較・対照言語学コース

言語文化学専攻 今日的な課題に幅広い観点から取り組む

3分野6講座（I: 超領域文化論講座、表象文化論講座、II: コミュニケーション論講座、第二言語教育学講座、III: 理論言語学・デジタルヒューマニティーズ講座、言語認知科学講座）が連携しつつ、伝統的なディシプリンと新たな研究領域や研究方法論を融合し、言語と文化に関する高度な教養や情報活用能力を修得することで、今日の多文化・多言語社会における国家・民族・文化間の諸問題等に取り組みます。

外国学専攻 24の言語とその地域について多角的・徹底的に学べる

24の言語とそれを基底とする文化一般について、高度な言語運用能力をもとに理論と実践の両面にわたり総合的に教授・研究する「外国学研究」を主眼とし、人文社会科学諸分野や学際的アプローチから世界の言語と文化を研究します。①地域文化研究コース（アジア・アフリカ言語文化コース、ヨーロッパ・アメリカ言語文化コース）、②高度専門職業人コース（英語教員リカレント・コース、中国語教員リカレント・コース）

日本学専攻 基盤的研究と応用的展開の双方をカバーする日本最大規模の日本学専攻

基盤日本学コースと応用日本学コースの2コースを擁する日本学専攻は、日本の言語・文化・社会・歴史・文学などを厳密に学問的な方法に基づいて深く探究するとともに、その専門的知見に基づいて日本の抱える今日的課題に果敢に取り組むことのできる人材を育成します。さらに、比較や交流の観点から日本を世界的視野のうちに捉え、日本語・日本文化についての幅広い知見を基礎としてグローバルに活躍できる実践力・応用力を養います。

芸術学専攻 基礎と社会的実践の両方に立脚、国立総合大学最大の芸術学の専攻

4コース（アート・メディア論コース、美学・文芸学コース、音楽学・演劇学コース、日本東洋美術史・西洋美術史コース）から成る芸術学専攻では、他の何ものによっても代替不可能な営みである芸術を、全国的にも類を見ない規模で捉え、専門的・先端的且つ学際的な厚みと多様性を備えた研究・教育活動を行います。これにより、現代社会の諸システムの制約や限界を超え出る可能性・構想力を持った人材を育成します。

■各専攻の入学定員と学位プログラム

専攻	課程(入学定員)	プログラム	取得できる学位
人文学専攻	博士前期課程(47人) 博士後期課程(14人)	人文学プログラム	修士(文学) 博士(文学)
言語文化学専攻	博士前期課程(32人) 博士後期課程(15人)	言語文化学プログラム	修士(言語文化学) 博士(言語文化学)
外国学専攻	博士前期課程(25人) 博士後期課程(11人)	外国学プログラム	修士(言語文化学) 博士(言語文化学)
日本学専攻	博士前期課程(40人) 博士後期課程(18人)	基盤日本学プログラム	修士(文学) 博士(文学)
		応用日本学プログラム	修士(日本語・日本文化) 博士(日本語・日本文化)
芸術学専攻	博士前期課程(17人) 博士後期課程(7人)	芸術学プログラム	修士(文学) 博士(文学)

*教授会の議を経て総長が適当と認めたときは、「修士/博士(学術)」を授与する場合があります。

人文学研究科アドミッション・ポリシー（博士前期課程）

求める人材像

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、人文学研究科は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、伝統的かつ最先端の人文学の知見や、言語と文化に関する高度な専門性と深い学識、教養・デザイン力・国際性を身に付け、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

入学者選抜の基本方針

上記の人材像に合う学生を適正に選抜するために、人文学研究科の5専攻（日本学専攻は各コース）の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。また、社会科学や自然科学の分野の学生、留学生や社会人にも広く門戸を開いています。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

大阪大学のアドミッション・ポリシーにもとづき、かつ本研究科の特質にしたがって、各専攻（日本学専攻は各コース）のもとで、修学・研究に対する能力・適性を考査し、選抜します。

■人文学専攻アドミッション・ポリシー（博士前期課程）

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「人文学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学部又は大学院の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

入学者選抜の基本方針

上記の人材像に合う学生を適正に選抜するために、学位プログラム「人文学」では、一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生選抜を実施します。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

一般選抜では、哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける研究に必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性などを判定する口頭試験により選抜します。

社会人特別選抜では、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適性を判定のうえ選抜します。

外国人留学生選抜では、本学における修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力および適性を判定のうえ選抜します。

■日本学専攻アドミッション・ポリシー（博士前期課程）

<基盤日本学コース>

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「基盤日本学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学部又は大学院の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、現代日本学、日本史学、考古学、日本文学・日本語史学、基盤日本語学の各分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

入学者選抜の基本方針

上記のような学生を適正に選抜するために、一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生選抜を実施します。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

1. 一般選抜では、現代日本学、日本史学、考古学、日本文学・日本語史学、基盤日本語学の各分野における研究に必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性などを判定する口頭試験により選抜します。
2. 社会人特別選抜では、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適性を判定のうえ選抜します。
3. 外国人留学生選抜では、本学における修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力および適性を判定のうえ選抜します。

■芸術学専攻アドミッション・ポリシー（博士前期課程）

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「芸術学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学位プログラム「芸術学」は、芸術学の諸領域についてみずから深い関心をもって主体的に学び、独創的かつ高度な研究を志す人、また、その学びを社会の様々な領域において活用しようとする人を、学生として求めます。

入学者選抜の基本方針

学位プログラム「芸術学」では、大阪大学、および人文学研究科のアドミッション・ポリシーにもとづき、芸術学領域を構成するアート・メディア論、美学・文芸学、音楽学・演劇学、日本東洋美術史・西洋美術史の4コースの修学・研究に対する能力・適性を考査し、選抜します。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

試験は以下の方法により、芸術学研究に意欲的な人を受け入れます。

博士前期課程の一般選抜では、各コースにおける研究に必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性などを判定する口頭試験により選抜します。

社会人については、上記の課程において、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適性を判定する社会人特別選抜を実施します。

留学生については、上記の課程において、修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力および適性を判定する外国人留学生選抜を実施します。

※ 教育目標及び各ポリシーの詳細は、人文学研究科 Web サイトをご覧ください。

I 共通事項

1. 大阪大学大学院人文学研究科人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻の修業年限及び修了要件

人文学研究科は、博士課程で、これを前期課程（修士課程として取り扱います）と後期課程に区分しています。前期課程の標準修業年限は2年です。なお、後期課程の標準修業年限は3年です。

人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻の前期課程は、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することをもって修了とします。

2. 専攻・コース、選抜区分及び募集人員

- (1) 本研究科の博士前期課程には、「人文学専攻」、「言語文化学専攻」、「外国学専攻」、「日本学専攻」、「芸術学専攻」の5専攻が設けられており、さらに専攻は、13のコースに分かれています（本要項にて受験できるコースについては裏表紙参照）。
- (2) 本研究科博士前期課程「人文学専攻」、「日本学専攻基盤日本学コース」、「芸術学専攻」の選抜区分は、以下のとおりです。

選抜区分	募集時期	募集人員	備考
一般選抜	年2回 (秋期・冬期)	人文学専攻：47人 日本学専攻基盤日本学コース：30人※ 芸術学専攻：17人	秋期試験と冬期試験のいずれか、又は両方を受験することができます。
外国人留学生選抜	年1回 (冬期のみ)		原則、我が国の大学・大学院等において教育を受けている外国人留学生で、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格により在留する者を対象とします。ただし、入学時に在留資格を「留学」に変更できる者を含みます。
社会人特別選抜	年1回 (秋期のみ)		社会人としての経験を生かして研究に取り組むことを希望する人、及びその研究を通して高度の専門職や研究職を目指す人を対象としています。

※博士前期課程日本学専攻の募集人員は、基盤日本学コース30名及び応用日本学コース10名の計40名です。

(注) 一般選抜(秋期)と社会人特別選抜、及び一般選抜(冬期)と外国人留学生選抜の併願はできません。

3-1. 出願資格【一般選抜】

一般選抜に出願することができる者は、次の(1)～(10)のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 大学又は専門職大学を卒業した者及び令和4年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条の第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学も含む。以下同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) * 外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められたもの
- (10)*本研究科において、個別の出願資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年3月31日までに22歳に達するもの

※ 出願資格(9)・(10)に該当する者は、資格認定審査が必要となるため、事前にお問い合わせのうえ、秋期試験は令和3年9月21日（必着）まで、冬期試験は令和3年11月26日（必着）までに文学研究科教務係に「出願資格認定願（所定様式）」等を提出してください。

3-2. 出願資格【外国人留学生選抜】

外国人留学生選抜に出願することができる者は、次の(1)～(2)のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 本学文学部を卒業した（もしくは令和4年3月に卒業見込みの）外国人留学生
- (2) 上記3-1のいずれかに該当し、原則として文学研究科あるいは本学文学部の研究生として半年以上在学する（もしくは令和4年3月までに半年以上在学する見込みの）外国人留学生

※ 出願資格(9)・(10)に該当する者は、資格認定審査が必要となるため、事前にお問い合わせのうえ、令和3年11月26日（必着）までに文学研究科教務係に「出願資格認定願（所定様式）」等を提出してください。

3-3. 出願資格【社会人特別選抜】

社会人特別選抜に出願することができる者は、前ページ3-1のいずれかの資格を有し、かつ3年以上の社会人経験のある者とします。

ただし、出願時において学生（学校に正規生として在籍している者）である者は、出願資格を有しません。

※ 出願資格(9)・(10)に該当する者は、資格認定審査が必要となるため、事前にお問い合わせのうえ、令和3年9月21日（必着）までに文学研究科教務係に「出願資格認定願（所定様式）」等を提出してください。

4. 入学料及び授業料

- (1) 入学料 282,000 円
- (2) 授業料（前期分・後期分共） 267,900 円（年額 535,800 円）

入学料、授業料の金額については、変更することがあります。

また、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

（国費外国人留学生として入学する場合は、入学料、授業料とも納入する必要はありません。）

5. 長期履修学生制度

職業を有する者、出産・育児・介護等を行う者等を対象に、博士前期課程にあつては最長4年間の在学年限で計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを認める制度です。

学生の申請に基づき、本研究科が審査し決定します。申請方法等の詳細については、合格者あて別途通知します。

6. 個人情報の取扱い

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。

なお、合格者については合格発表日以降、入学後に履修可能な教育プログラムの案内をするために利用することがあります。

また、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導等）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。

- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

- (3) 上記の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。

この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出していただいた個人情報の全部または、一部を提供します。

7. 注意事項

- (1) 出願書類の提出及び照会等は大阪大学大学院文学研究科教務係宛に行ってください。

- (2) 出願手続後は、記載事項及び書類の変更、検定料の払戻しは原則としてできません。

- (3) 出願書類は黒ボールペンで記入してください。（「消せるボールペン」不可）

- (4) 希望者は、下記期間に限り、文学研究科の過去2年間の入試問題を閲覧することができます。（当該年度に受験者がなかったコースの問題は閲覧できません。閲覧の可否は、文学研究科 Web サイト（入学試験の過去問題ページ <http://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/graduate/bh2bjb>）で確認してください。）

ア. 閲覧期間

令和3年6月1日(火)～令和4年1月31日(月)

(土・日曜日、祝日及び令和3年8月11日(水)～13日(金)、令和3年12月29日(水)～令和4年1月3日(月)を除く)

イ. 閲覧時間

10:00～11:30 及び 12:30～16:00

ウ. 閲覧場所

文学研究科教育支援室(文法経本館1階 文学研究科側の正面入口入って左側)

- (5) 出願書類に虚偽の記載(剽窃・盗用を含む)をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (6) 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、秋期試験は令和3年9月21日までに、冬期試験は令和3年11月26日までに文学研究科教務係へ問い合わせてください。
- 本研究科(人文学専攻、日本学専攻基盤日本学コース、芸術学専攻)の入試情報(入試過去問題を含む)については、「[大阪大学大学院文学研究科 \(http://www.let.osaka-u.ac.jp/\)](http://www.let.osaka-u.ac.jp/)」を参照してください。**
- (7) 新型コロナウイルスの感染等により受験ができない場合は、事前に文学研究科教務係へご相談ください。

新型コロナウイルス感染症の影響により記載内容に変更が生じた場合は、随時、文学研究科 Web サイト(<http://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/graduate> ホーム / 入試・入学案内 / 大学院関係入試)でお知らせしますのであわせてご確認ください。

Ⅱ 一般選抜（秋期試験・冬期試験）

1. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、筆記試験、口頭試験、志望理由書、出身学校の学業成績、卒業論文（又はそれに代わる論文）により、総合的に判断して行います。
ただし秋期試験出願者は、研究概要をもって卒業論文（又はそれに代わる論文）に代えることができます。
- (2) 秋期試験の筆記試験では、外国語試験（指定された外国語から出願時に選択）と専門試験を行います。
各コース・受験分野によって、外国語試験において受験可能な外国語の種類及び専門試験の内容が異なります。詳しくは【表1】を参照してください。
- (3) 冬期試験の筆記試験は、各コース・受験分野によって試験内容が異なります。詳しくは【表2】を参照してください。

2. 出願手続

(1) 出願方法

出願は、郵送に限ります。

郵送の際、3. の「出願書類」を一括して封筒に入れ、封筒表面に「博士前期課程入学願書」と朱書きし、書留速達郵便で下記宛先に送付してください。

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5 大阪大学大学院文学研究科教務係

(2) 受付期間

秋期試験 令和3年10月4日（月）～令和3年10月8日（金）

【10月8日までの消印のある書留速達郵便に限り受付期間後に到着した場合でも受理します。】

冬期試験 令和3年12月13日（月）～令和3年12月17日（金）

【12月17日までの消印のある書留速達郵便に限り受付期間後に到着した場合でも受理します。】

(3) 受験票

受験票は、秋期試験は令和3年10月14日（木）以降に、冬期試験は令和4年1月12日（水）以降に、「受験者注意事項」とともに発送します。試験当日に持参してください。

なお、受験票が、秋期試験は令和3年10月21日（木）、冬期試験は令和4年1月19日（水）を過ぎても到着しないときは、文学研究科教務係へ問い合わせてください。

また、受験票は、入学手続の際に必要なため、受験後も紛失しないように保管してください。

3. 出願書類 (◎は、文学研究科所定のものを使用してください。)

所定様式	出願書類	注意事項等
◎	入学願書	<ul style="list-style-type: none"> 志望するコース、受験分野名及びコードを必ず記入してください。 秋期試験出願者は、受験外国語科目の欄を必ず記入してください(【表1】参照)。冬期試験出願者は、筆記試験において出願時に選択する外国語がある場合、所定欄に記入してください(【表2】参照)。 本学出身者は、学籍番号を必ず記入してください。
◎	受験者写真票・受験票	<ul style="list-style-type: none"> 志望するコース、受験分野名及びコードを必ず記入してください。
◎	志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> 当該分野を志望した動機を具体的に記入してください。
	卒業(見込)証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校において作成したもの。
	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校において作成したもの。
	卒業論文 [又はそれに代わる論文] (2部) もしくは研究概要 (2部) (※研究概要は秋期試験出願者のみ可)	<ul style="list-style-type: none"> 卒業論文[又はそれに代わる論文]のコピーを2部提出してください(冬期試験については、本学文学部を令和4年3月に卒業見込みの者は、提出不要です)。 冬期試験の卒業論文[又はそれに代わる論文]のコピーの提出延期を希望する場合は入学願書裏面にチェックを入れてください。(注1) 提出した論文は、返却しません。 秋期試験の出願者は、卒業論文[又はそれに代わる論文]に代えて、研究概要(現在までの研究報告、及び今後の研究計画(6,000~8,000字))を提出することもできます。
◎	受験票送付用封筒	<ul style="list-style-type: none"> 出願者本人の宛先を記入し、254円切手を貼付してください。
◎	合否通知等用封筒	<ul style="list-style-type: none"> 出願者本人の宛先を記入し、430円切手を貼付してください。
◎	検定料(30,000円) (注2)	<ul style="list-style-type: none"> 所定の振込依頼書を使用して、銀行窓口で振込んでください[A T M(現金自動預入払出機)やインターネットでの振込は不可です]。振込手数料は払込人負担です。 振込後、検定料納入証明書(取扱銀行領収印のないものは無効)を入学願書の所定欄に貼付してください。 上記以外の方法(現金・郵便普通為替証書)では、納入(願書を受理)できません。
	住民票の写し (※外国人の志願者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の志願者は市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」の原本を提出してください(コピー不可)。 ※出願者以外の世帯員については、証明不要です。 外国人住民登録をしていない者は、「パスポート」の氏名、入国日及び在留資格を記載している箇所の写しを提出してください。 ただし、法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。

(注1) 卒業論文等は、令和4年1月6日(木)までに書留郵便にて提出してください。令和4年1月6日(木)までの消印があるものについては受理しますが、それ以降の場合は出願書類不備として取り扱いますのでご注意ください。

(注2) 東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨、平成30年大阪府北部を震源とする地震、平成30年北海道胆振東部地震、令和元年台風第15号又は令和元年台風第19号、令和2年7月豪雨において被災した志願者は検定料免除の申請が可能です。申請方法は下記 URL 参照。<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/information>

4. 試験期日及び試験会場

〔秋期試験〕

文学研究科試験場にて下記のとおり実施します。

試験科目		試験日	試験時間
筆記試験	外国語試験	令和3年11月14日(日)	9:00~10:00(60分)
	専門試験		11:00~13:00(120分)
口頭試験			15:00~

口頭試験には、提出した論文又は研究概要のコピーを持参してください。

〔冬期試験〕

文学研究科試験場にて下記のとおり実施します。

試験科目		試験日	試験時間
筆記試験	口頭試験	令和4年2月2日(水)	9:30~12:00(150分)
口頭試験			14:00~

口頭試験には、提出した論文のコピーを持参してください。

5. 合格者発表

秋期試験 令和3年11月19日(金) 13:00

冬期試験 令和4年2月18日(金) 13:00

文学研究科掲示場(文法経本館1階教務係前)に合格者の受験番号を発表し、受験者全員に郵送にて合否を通知します。

(電話、メール等による合否の問い合わせには応じません。)

6. 入学手続

合格者は、下記いずれかの方法により必要書類を提出してください。

入学手続きに関する詳細は、合格者に別途通知します。

① 郵送による場合

受付期間：令和4年3月3日(木)～3月9日(水)

【3月9日までの消印のある書留速達郵便に限り受付期間後に到着した場合でも受理します。】

② 直接持参する場合

受付日：令和4年3月9日(水)

10:00~11:30 及び 12:30~17:00

【表1】一般選抜（秋期試験）

専攻	コース	受 験 分 野	外国語試験	専 門 試 験
人 文 学 専 攻	哲 学	哲 学 哲 学 史	英語・独語・ 仏語・スペイ ン語・伊語か ら1外国語	哲学および哲学史を研究する上で必要な語 学力を問う。英語・独語のうち外国語試験で 受験しなかった1外国語。 また、哲学および哲学史の基本問題について の思考力と基礎的知識を問う。
		科 学 技 術 社 会 論	英語・独語・ 仏語・スペイ ン語・伊語か ら1外国語	科学技術社会論に関する諸問題についての 思考力と基礎的知識を問う。英語による論述 能力の判定を含む。
		臨 床 哲 学	英語・独語・ 仏語から1 外国語	現代の社会に関する問題を哲学・倫理学の課 題と結びつける力を問う。
		中 国 哲 学	英語・中国語 から1外国 語	漢語（古文・現代文）および中国思想・文化 に関する基礎的学力について試験する。
		インド学・仏教学	英語・独語・ 仏語・露語・ 中国語から1 外国語	インド学・仏教学を研究する上で必要な言 語・思想・宗教・文化・歴史などに関する基 礎的事項や方法論について問うとともに、専 門的語学としてサンスクリット語の語学力 （語学辞書は持込可）を問う。一部の設問は、 サンスクリット語・パーリ語のうちどちらか を選択できる。
	グローバル ヒストリー ・ 地 理 学	東 洋 史 学	英語・独語・ 仏語・露語・ 中国語から1 外国語	東洋史学分野に関する知識と論述能力、およ び①古典漢語、②外国語（英語・独語・仏語・ 露語・中国語のうち、外国語試験で受験しな かった1外国語。中国語以外は中辞典程度の 辞書持込可）の読解力を判定する。
		西 洋 史 学	独語・仏語・ 伊語・露語・ 中国語・スペ イン語から1 外国語	西洋史学に関する基礎的知識を判定する。 英語史書（辞書持込可）の読解力ならびに西 洋史学の専門的知識と論述能力を判定する。

注1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

専攻	コース	受 験 分 野	外国語試験	専 門 試 験
人 文 学 専 攻	グローバル ヒストリー ・ 地 理 学	人 文 地 理 学	英語・独語・ 仏語・露語・ 中国語から 1 外国語	日本および外国の人文地理学の知識を判定する。人文地理学の英語文献の読解力の判定を含む（中辞典程度の英語辞書持込可）。
	文 学	中 国 文 学	中国語	中国文学の学力を総合的に判定する試験を行う。
		英 米 文 学	英語・独語・ 仏語・露語・ 中国語から 1 外国語	大学院において、英文テキストを十分読みこなし、また、英文をもちいて自己表現を行うに足る英文読解力、英作文能力を試験する。あわせて、英文学・アメリカ文学の分野において研究を遂行する基礎となる知識、方法論および分析力について試験する。
		ド イ ツ 文 学	英語・仏語・ 露語・中国語 から 1 外国 語	ドイツ語の読解力と表現能力、ならびにドイツ文学研究に必要な基礎知識、および日本語での論述能力を総合的に試験する。
		フ ラ ン ス 文 学	英語・独語・ 露語・中国語 から 1 外国 語	フランス語の読解力、フランス語による表現力と論述能力、フランス文学に関する基礎知識を判定する。
		テ ク ス ト 環 境 論	英語・独語・ 仏語・伊語・ 露語・中国語 から 1 外国 語	文学テキストとそれを取り巻く（環境（コンテキスト））を研究するのに必要な基礎知識、理解力、テキスト分析力（英語文献の読解を含む）を試験する。
	比較・対照 言語学	比 較 ・ 対 照 言 語 学	英語・独語・ 仏語・露語・ 中国語・伊 語・スペイン 語から 1 外 国語	英文テキストを十分読みこなす読解力、自己表現を英文をもちいて行うに足る英作文能力を有するか、また言語学分野において研究遂行する基礎となる知識、方法論および分析力を有するかについて試験する。

注 1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注 2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

専攻	コース	受 験 分 野	外国語試験	専 門 試 験
日 本 学 専 攻	基 盤 日 本 学	現 代 日 本 学	英語・独語・ 仏語・露語・ 中国語から 1 外国語	大学院博士前期課程での修学に必要な現代 日本学に関する専門知識、理解力、分析力を 試験する。試験の一部に英語文献もしくは史 料の読解を含むことがある。
		日 本 史 学	英語・独語・ 仏語・露語・ 中国語から 1 外国語	日本史に関する知識と論述能力、史料（古文 書を含む）の読解能力を試験する。
		考 古 学	英語・独語・ 仏語・露語・ 中国語から 1 外国語	考古学ならびに関連する学問分野にわたる 知識と論述能力を判定する。考古資料の分析 力、考古学にかかわる文字資料・英語などの 読解力の判定を含む。
		日本文学・日本語史学	英語・独語・ 仏語・露語・ 中国語から 1 外国語	大学院博士前期課程で修学するのに必要な 知識、読解力、分析力、および修士論文を作 成するのに必要な文章力、総合力を試す。「日 本文学」・「日本語史学」両分野に共通する試 験（古文を読解する問題を含む）を行う。
		基 盤 日 本 語 学	英語・独語・ 仏語・露語・ 中国語から 1 外国語	日本語あるいは言語一般を分析するための 能力、および、日本語学の諸領域に関する 基礎的かつ幅広い知識について、試験する。
芸 術 学 専 攻	ア ー ト ・ メ デ ィ ア 論	ア ー ト ・ メ デ ィ ア 論	英語・独語・ 仏語・伊語・ 露語・中国 語から 1 外 国語	<p>(A) では、アート、メディア、文化政策に関 する基礎知識を問う。</p> <p>(B) では、具体的なアートワークもしくはメ ディア上の画像や言語テキストに基づいて、 アート、メディア、パフォーマンスに対する 鑑賞能力および分析力を問う。あるいは、ア ート・プロジェクトや文化イベントなどの基 本の方針の立て方や実施方法、またその社会 的意義についての着想力、構想力、思考力な どを問う。</p> <p>[(A)、(B) とともに複数の問題から指定数を 選択]</p>

注 1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注 2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

専攻	コース	受 験 分 野	外国語試験	専 門 試 験
芸 術 学 専 攻	美 学・ 文 芸 学	美 学	独語・仏語・ 伊語・露語・ 中国語から 1 外国語	① 芸術諸学の基本的な知識を問う試験。 ② 美学・芸術学と関連する英文テキストの 読解と検討を中心とする試験。 ③ 美学・芸術学における基本的な知識と論 述能力について問う試験。
		文 芸 学	独語・仏語・ 伊語・露語・ 中国語から 1 外国語	① 芸術諸学の基本的な知識を問う試験。 ② 文芸学と関連する英文テキストの読解 と検討を旨とする試験。 ③ 文芸学における基本的な知識と論述能 力について問う試験。
	音 楽 学 ・ 演 劇 学	音 楽 学	独語・仏語・ 伊語・露語・ 中国語・ス 페인語から 1 外国語	① 芸術諸学の基本的な知識を問う試 験（配点およそ 20%）。 ② 音楽学と関連する英文テキストの読解 と検討を旨とする試験（配点およそ 40%）。 ③ 音楽学に関連して、基本的な知識と論述 能力を問う試験（配点およそ 40%）。
		演 劇 学	英語・独語・ 仏語・伊語・ 露語・中国 語から 1 外 国語	① 芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配 点およそ 20%） ② 演劇学に関連して、英文テキストの読解 と検討、あるいは日本古文書読解を内容とす る試験（配点およそ 50%）。 ③ 演劇学に関連して、基本的な知識と論述 能力を問う試験。（配点およそ 30%）
	日 本 東 洋 美 術 史 ・ 西 洋 美 術 史	日 本 東 洋 美 術 史	英語・独語・ 仏語・露語・ 中国語から 1 外国語	① 芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配 点およそ 20%）。 ② 漢文や変体仮名の出題によって、その読 解力と日本・東洋美術史に関する専門知識を 問う試験。 美術作品を見る能力を問う試験。
		西 洋 美 術 史	独語・仏語・ 伊語・露語・ スペイン語 から 1 外国 語	① 芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配 点およそ 20%）。 ② 英文の課題によって、その読解力と西洋 美術史に関する専門知識を問う試験。 ③ 美術作品を見る能力を問う試験。

注 1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注 2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

【表2】一般選抜（冬期試験）

専攻	コース	受 験 分 野	筆 記 試 験
人 文 学 専 攻	哲 学	哲 学 哲 学 史	哲学および哲学史を研究するのに必要な外国語読解力(英語および独語の2外国語)と基本問題についての思考力と基礎的知識を問う。
		科 学 技 術 社 会 論	科学技術社会論に関する諸問題についての思考力と基礎的知識を問う。英語による論述能力の判定を含む。
		臨 床 哲 学	現代の社会に関する問題を哲学・倫理学の課題と結びつける力を問う。また、研究上必要な語学力(英語・独語・仏語のうち1外国語を出願時に選択)を問う。
		中 国 哲 学	中国思想・文化に関する学力、および漢語(古文・現代文)の読解力を試験する。
		インド学・仏教学	インド学・仏教学を研究する上に必要な言語・思想・宗教・文化・歴史などに関する基礎的事項や方法論について問うとともに、専門的語学としてサンスクリット語の語学力(語学辞書は持込可)を問う。一部の設問は、サンスクリット語・パーリ語のうちどちらかを選択できる。
	グローバル ヒストリー ・ 地理学	東 洋 史 学	東洋史を中心とした歴史学に関する知識と論述能力、また古典漢語と英語の能力を判定する(英語は、中辞典程度の辞書持込可)。
		西 洋 史 学	西洋史学に関する専門的知識および論述能力と、外国史書の読解力(英語・独語・仏語のうちから1外国語を出願時に選択、辞書持込可)を判定する。
		人 文 地 理 学	日本および外国の人文地理学の知識を判定する。人文地理学の英語文献の読解力の判定を含む(中辞典程度の英語辞書持込可)。
	文 学	中 国 文 学	中国文学の学力を総合的に判定する試験を行う。
		英 米 文 学	英語の読解力と表現力、英米文学に関する基礎知識、および研究に必要な分析力と論述能力のほか、外国語(英語・独語、仏語から1外国語を出願時に選択)の能力を試験する。
		ド イ ツ 文 学	ドイツ語の読解力と表現力、ドイツ文学・語学に関する基礎知識、および研究に必要な分析力と論述能力のほか、外国語(英語、仏語から1外国語を出願時に選択)の能力を試験する。
		フ ラ ン ス 文 学	フランス語の読解力と表現力、フランス文学・語学に関する基礎知識、および研究に必要な分析力と論述能力のほか、外国語(英語、独語から1外国語を出願時に選択)の能力を試験する。
		テ ク ス ト 環 境 論	文学テキストとそれを取り巻く(環境(コンテキスト))を研究するのに必要な基礎知識、理解力、テキスト分析力(英語文献の読解を含む)を試験する。

注1)「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

専攻	コース	受 験 分 野	筆 記 試 験
人文学専攻	比較・対照言語学	比較・対照言語学	英語の読解力と表現力、言語学に関する基礎知識、および研究に必要な分析力と論述能力のほか、外国語（英語、独語、仏語から1外国語を出願時に選択）の能力を試験する。
日 本 学 専 攻	基 盤 日 本 学	現 代 日 本 学	大学院博士前期課程での修学に必要な現代日本学に関する専門知識、理解力、分析力を試験する。試験の一部に英語文献もしくは史料の読解を含むことがある。
		日 本 史 学	日本史に関する知識と論述能力および史料（古文書・英語を含む）の読解能力等を試験する。
		考 古 学	考古学ならびに関連する学問分野にわたる知識と論述能力を判定する。考古資料の分析力、考古学にかかわる文字資料・英語などの読解力の判定を含む。
		日本文学・日本語史学	大学院博士前期課程で修学するのに必要な知識、読解力、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力、総合力を試す。「日本文学」・「日本語史学」両分野に共通する試験（古文を読解する問題を含む）を行う。
		基 盤 日 本 語 学	大学院博士前期課程で修学するのに必要な日本語学についての知識と分析力、外国語（英語）読解力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。
芸 術 学 専 攻	アート・メディア論	アート・メディア論	(1) アート、メディア、文化政策に関する基礎知識を問う。 (2) ①具体的な画像（アートワーク、メディア上のイメージなど）や言語テキスト等に基づいて、アート、メディア、パフォーマンスに対する鑑賞能力および分析力を問う。 ②アート・プロジェクトや文化イベントなどの基本的方針の立て方や実施方法、またその社会的意義についての着想力、構想力、思考力などを問う。 [(2) については上記二群 (①②) の問題から複数問選択]
			美 学
	美 学・ 文 芸 学	文 芸 学	①芸術諸学の基礎的な知識を問う試験（配点およそ20%）。 ②文芸学と関連する英文テキストの読解と検討を旨とする試験。 ③文芸学における基礎的な知識と論述能力について問う試験。

注1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

専攻	コース	受験分野	筆記試験
芸術学専攻	音楽学 ・ 演劇学	音楽学	①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。 ②音楽学の基本的な知識に関する短問短答。 ③音楽学の専門試験（英文テキストの読解と検討を含む）。
		演劇学	①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。 ②演劇学の基本的な知識に関する短問短答。 ③演劇学の専門試験（英文の読解あるいは古文献の読解を含む）。
	日本東洋美術史 ・ 西洋美術史	日本東洋美術史	①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。 ②漢文や変体仮名の出題によって、その読解力と日本・東洋美術史に関する専門知識を問う試験。 ③美術作品を見る能力を問う試験。
		西洋美術史	①芸術諸学の基本的な知識を問う試験（配点およそ20%）。 ②英文の課題によって、その読解力と西洋美術史に関する専門知識を問う試験。 ③美術作品を見る能力を問う試験。

注1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

Ⅲ 外国人留学生選抜

(P.7の「3-2出願資格【外国人留学生選抜】」を確認すること)

原則、我が国の大学・大学院等において教育を受けている外国人留学生で、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格により在留する者を対象とします。
ただし、入学時に在留資格を「留学」に変更できる者を含みます。

1. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、筆記試験、口頭試験、志望理由書、研究レポート及び出身学校の学業成績により、総合的に判断して行います。
- (2) 筆記試験では、専門試験を行います。
各専門分野・受験分野によって、専門試験の内容が異なります。また、専門試験には、研究に必要とされる外国語の能力試験を含めている専門分野・受験分野もあります。詳しくは【表3】を参照してください。

2. 出願手続

(1) 出願方法

出願は、郵送に限ります。

郵送の際、3.の「出願書類」を一括して封筒に入れ、封筒表面に「博士前期課程（外国人留学生）入学願書」と朱書きし、書留速達郵便で下記宛先に送付してください。

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5 大阪大学大学院文学研究科教務係

(2) 受付期間

令和3（2021）年12月13日（月）～令和3（2021）年12月17日（金）

【12月17日までの消印のある書留速達郵便に限り受付期間後に到着した場合でも受理します。】

※ 出願までに、出願しようとする専門分野・受験分野の教員に連絡し、希望する研究内容等を必ず確認しておいてください。

(3) 受験票

受験票は、令和4（2022）年1月12日（水）以降に、「受験者注意事項」とともに発送します。試験当日に持参してください。

なお、受験票が令和4（2022）年1月19日（水）を過ぎても到着しないときは、文学研究科教務係へ問い合わせてください。

また、受験票は、入学手続の際に必要なため、受験後も紛失しないように保管してください。

3. 出願書類（◎は、文学研究科所定のものを使用してください。）

所定様式	出願書類	注意事項等
◎	入 学 願 書	<ul style="list-style-type: none"> 志望する専門分野、受験分野名及びコードを必ず記入してください。 本学出身者（研究生を含みます）は、学籍番号を必ず記入してください。 専門試験において出願時に選択する外国語がある場合は、所定欄に記入してください（【表3】参照）。
◎	受験者写真票・受験票	<ul style="list-style-type: none"> 志望する専門分野、受験分野名及びコードを必ず記入してください。
◎	志 望 理 由 書	<ul style="list-style-type: none"> 当該分野を志望した動機を具体的に記入してください。
	卒業（見込）証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校において作成したもの。
	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校において作成したもの。 文学研究科又は本学文学部の研究生として在学している者は、提出不要です。
	住 民 票 の 写 し	<ul style="list-style-type: none"> 市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「<u>住民票の写し</u>」の原本を提出してください（コピー不可）。 ※出願者以外の世帯員については、証明不要です。 外国人住民登録をしていない者は、「パスポート」の氏名、入国日及び在留資格を記載している箇所の写しを提出してください。
	国費外国人留学生証明書	<ul style="list-style-type: none"> 国費外国人留学生のみ提出してください。 ただし、文学研究科及び本学文学部に在学している国費外国人留学生は、提出不要です。
	研 究 レ ポ ー ト (2部)	<ul style="list-style-type: none"> 様式及び枚数随意（本学文学部を令和4（2022）年3月に卒業見込みの者は、提出不要です）。 提出した研究レポートは、返却しません。
◎	受 験 票 送 付 用 封 筒	<ul style="list-style-type: none"> 出願者本人の宛先を記入し、254円切手を貼付してください。
◎	合 否 通 知 等 用 封 筒	<ul style="list-style-type: none"> 出願者本人の宛先を記入し、430円切手を貼付してください。
◎	検 定 料 (30,000 円) (注1)	<ul style="list-style-type: none"> 所定の振込依頼書を使用して、銀行窓口で振込んでください [ATM（現金自動預入払出機）やインターネットでの振込は不可です]。振込手数料は払込人負担です。 振込後、検定料納入証明書（取扱銀行領収印のないものは無効）を入学願書の所定欄に貼付してください。 上記以外の方法（現金・郵便普通為替証書）では、納入（願書を受領）できません。 国費外国人留学生として入学する場合は、納入を必要としません。

(注1) 東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨、平成30年大阪府北部を震源とする地震、平成30年北海道胆振東部地震、令和元年台風第15号又は令和元年台風第19号、令和2年7月豪雨において被災した志願者は検定料免除の申請が可能です。申請方法は下記 URL 参照。 <https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/information>

4. 試験期日及び試験会場

文学研究科試験場にて下記のとおり実施します。

試験科目		試験日	試験時間
筆記試験	専門試験	令和4(2022)年2月2日(水)	9:30~12:00(150分)
口頭試験			14:00~

口頭試験には、提出した研究レポートのコピーを持参してください。

5. 合格者発表

令和4(2022)年2月18日(金) 13:00

文学研究科掲示場(文法経本館1階教務係前)に合格者の受験番号を発表し、受験者全員に郵送にて合否を通知します。

(電話、メール等による合否の問い合わせには応じません。)

6. 入学手続

合格者は、下記いずれかの方法により必要書類を提出してください。

入学手続きに関する詳細は、合格者に別途通知します。

① 郵送による場合

受付期間：令和4(2022)年3月3日(木)～3月9日(水)

【3月9日までの消印のある書留速達郵便に限り受付期間後に到着した場合でも受理します。】

② 直接持参する場合

受付日：令和4(2022)年3月9日(水)

10:00~11:30 及び 12:30~17:00

外国人留学生選抜受験者へのお知らせ

重要

**大学院博士前期課程の合格発表後には、大阪大学文学部・人文学研究科
私費外国人留学生（研究生）試験への出願ができませんので、注意してください**

本研究科大学院博士前期課程外国人留学生選抜に不合格となった場合に、私費外国人留学生（研究生）として、令和4（2022）年4月に大阪大学文学部又は人文学研究科に入学を希望される方は、あらかじめ大阪大学文学部又は本研究科の私費外国人留学生（研究生）試験に出願をしておいてください。

なお、本学文学部・本研究科私費外国人留学生（研究生）の出願にあたっては、下記の研究生募集要項を熟読してください。

○「令和4（2022）年度文学部・人文学研究科私費外国人留学生（研究生）募集要項」

配布時期：

令和3（2021）年9月（予定）

○願書受理期間：

令和3（2021）年10月下旬（予定）

私費外国人留学生（研究生）出願に関する問い合わせ先：

大阪大学大学院文学研究科教務係 Tel 06-6850-5084

※上記記載の”人文学研究科”はここでは人文学専攻、日本学専攻基盤日本学コース、芸術学専攻のことを指します。

【表3】外国人留学生選抜

専攻	コース	受験分野	専門試験
人文学専攻	哲学	哲学 哲学史	哲学および哲学史を研究する上で必要な語学力（英語・独語のうちから1外国語を出願時に選択）と、基本問題についての思考力と基礎的知識を問う。
		科学技術社会論	科学技術社会論に関する諸問題についての思考力と基礎的知識を問う。英語による論述能力の判定を含む。
		臨床哲学	倫理学の基礎的知識および思考力を問う。また、研究上必要な語学力（英語・独語・仏語のうち1外国語を出願時に選択）を問う。
		中国哲学	中国思想・文化に関する基礎的学力、および漢文の読解力を試験する。
		インド学・仏教学	インド学・仏教学を研究する上で必要な言語・思想・宗教・文化・歴史などに関する基礎的事項や方法論について問うとともに、専門的語学としてサンスクリット語の語学力（語学辞書は持込可）を問う。一部の設問は、サンスクリット語・パーリ語のうちどちらかを選択できる。
	グローバル ヒストリー ・ 地理学	東洋史学	①東洋史を中心とした歴史学に関する知識と論述能力、②古典漢語あるいは専門とする分野の史料の読解能力、③英語（英語を母語とする場合は、英語に替えて独語・仏語・露語・中国語のうちから1外国語を出願時に選択）の語学力を試験する【中国語以外は、中辞典程度の辞書持込可】。
		西洋史学	西洋史学に関する専門的知識および論述能力と、外国史書の読解力（英語・独語・仏語のうちから1外国語を出願時に選択、辞書持込可）を判定する。
		人文地理学	人文地理学に関する基礎知識と論述能力を判定する。また、日本および外国の人文地理学の知識を判定する。人文地理学の英語文献の読解力の判定を含む（中辞典程度の辞書持込可）。
	文学	中国文学	中国文学の学力を総合的に判定する。

注1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

専攻	コース	受験分野	専門試験
人文学専攻	文学	英米文学	大学院において英文テキストを十分読みこなし、また、自己表現を英文をもちいて行うに足る英文読解力、英作文能力を試験するとともに、英文学・アメリカ文学の分野において研究を遂行する基礎となる知識、方法論および分析力について試験する。日本語で学術的な討論が行える十分な日本語運用能力をもつことを必要とする。
		ドイツ文学	ドイツ語、ドイツ文学に関する基礎知識、ドイツ語の読解力および表現力を試験する。
		フランス文学	フランス語、フランス文学に関する基礎知識、フランス語の読解力および表現力を試験する。
		テキスト環境論	文学テキストとそれを取り巻く（環境（コンテキスト））を研究するのに必要な基礎知識、理解力、テキスト分析力（英語文献の読解を含む）を試験する。
	比較・対照言語学	比較・対照言語学	大学院において英文テキストを十分読みこなし、また、自己表現を英文をもちいて行うに足る英文読解力、英作文能力を試験するとともに、言語学の分野において研究を遂行する基礎となる知識、方法論および分析力について試験する。
日本学専攻	基盤日本学	現代日本学	大学院博士前期課程での修学に必要な現代日本学に関する専門知識、理解力、分析力を試験する。試験の一部に英語文献もしくは史料の読解を含むことがある。
		日本史学	日本史に関する知識と論述能力および史料の読解能力等を試験する。
		考古学	考古学ならびに関連する学問分野にわたる知識と論述能力を判定する。考古資料の分析力、考古学にかかわる文字資料・日本語・英語などの読解力の判定を含む。
		日本文学・日本語史学	日本文学・日本語史学の専門学力を判定する試験。
		基盤日本語学	大学院博士前期課程で修学するのに必要な日本語学についての知識と分析力、日本語の読解力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。

注1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

専攻	コース	受 験 分 野	専 門 試 験
芸 術 学 専 攻	アート・ メディア論	アート・メディア論	(1) アート、メディア、文化政策に関する基礎知識を問う。 (2) ①具体的な画像（アートワーク、メディア上のイメージなど）や言語テキスト等に基づいて、アート、メディア、パフォーマンスに対する鑑賞能力および分析力を問う。 ②アート・プロジェクトや文化イベントなどの基本的方針の立て方や実施方法、またその社会的意義についての着想力、構想力、思考力などを問う。 [(2) については上記二群 (①②) の問題から複数問選択]
	美 学・ 文 芸 学	美 学	①美学・芸術学と関連する英文テキストの読解と検討を中心とする試験。 ②美学・芸術学における基本的な知識と論述能力について問う試験。
		文 芸 学	①文芸学と関連する英文テキストの読解と検討を旨とする試験。 ②文芸学における基本的な知識と論述能力について問う試験。
	音 楽 学 ・ 演 劇 学	音 楽 学	①音楽学と関連する英文テキストの読解と検討を旨とする試験。 ②音楽学に関わる専門学力を判定する試験。
		演 劇 学	①演劇学と関連する英文テキストの読解と検討を旨とする試験。 ②演劇学に関わる専門学力を判定する試験。
	日 本 東 洋 美 術 史 ・ 西 洋 美 術 史	日 本 東 洋 美 術 史	①ひろく東西の美術史に関する基本的な知識を問う試験。 ②大学院博士前期課程で修学するのに必要な日本・東洋美術史に関する知識、文献の読解力、美術作品を見る能力を問う試験。
		西 洋 美 術 史	①英文の出題によって、その読解力と西洋美術史に関する専門知識を問う試験。 ②美術史に関する基礎的知識を問うとともに、美術作品の見方や研究に携わるための資質を問う試験。

注1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

IV 社会人特別選抜

1. 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、出願書類審査及び専門試験により、総合的に判断して行います。

(2) 専門試験では、筆記試験と口頭試験を行います。

各専門分野・受験分野によって筆記試験の内容が異なります。また、筆記試験には、研究に必要とされる外国語の能力試験を含めている専門分野・受験分野もあります。詳しくは【表4】を参照してください。

2. 出願手続

(1) 出願方法

出願は、郵送に限ります。

郵送の際、3. の「出願書類」を一括して封筒に入れ、封筒表面に「博士前期課程（社会人特別選抜）入学願書」と朱書きし、書留速達郵便で下記宛先に送付してください。

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5 大阪大学大学院文学研究科教務係

(2) 受付期間

令和3年10月4日（月）～令和3年10月8日（金）

【10月8日までの消印のある書留速達郵便に限り受付期間後に到着した場合でも受理します。】

(3) 受験票

受験票は、令和3年10月14日（木）以降に、「受験者注意事項」とともに発送します。試験当日に持参してください。

なお、受験票が令和3年10月21日（木）を過ぎても到着しないときは、文学研究科教務係へ問い合わせてください。

また、受験票は、入学手続の際に必要なため、受験後も紛失しないように保管してください。

3. 出願書類 (◎は、文学研究科所定のものを使用してください。)

所定様式	出願書類	注意事項等
◎	入学願書	<ul style="list-style-type: none"> 志望するコース、受験分野名及びコードを必ず記入してください。 筆記試験において出願時に選択する外国語がある場合は、所定欄に記入してください (【表4】参照)。
◎	受験者写真票・受験票	<ul style="list-style-type: none"> 志望するコース、受験分野名及びコードを必ず記入してください。
	卒業証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校において作成したもの。
	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校において作成したもの。
	出願趣意書 (2部)	<ul style="list-style-type: none"> これまでの社会人としての経験について述べ、それを踏まえて志望する分野において予定している研究の計画を記した文章 (4,000字以内)。
	専門分野関連論文 [又はそれに相当する卒業論文] (2部)	<ul style="list-style-type: none"> 志望するコース・受験分野と関連を有する論文 (400字詰 30枚以上) [又はそれに相当する卒業論文]のコピーを2部提出してください。 公刊された研究業績があれば併せてそれを提出してください (3点以内)。 提出した論文等は、返却しません。
◎	受験票送付用封筒	<ul style="list-style-type: none"> 出願者本人の宛先を記入し、254円切手を貼付してください。
◎	合否通知等用封筒	<ul style="list-style-type: none"> 出願者本人の宛先を記入し、430円切手を貼付してください。
◎	検定料 (30,000円) (注1)	<ul style="list-style-type: none"> 所定の振込依頼書を使用して、銀行窓口で振込んでください [ATM (現金自動預入払出機) やインターネットでの振込は不可です]。振込手数料は払込人負担です。 振込後、検定料納入証明書 (取扱銀行領収印のないものは無効) を入学願書の所定欄に貼付してください。 上記以外の方法 (現金・郵便普通為替証書) では、納入 (願書を受領) できません。
	住民票の写し (※外国人の志願者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の志願者は市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」の原本を提出してください (コピー不可)。 <ul style="list-style-type: none"> ※出願者以外の世帯員については、証明不要です。 外国人住民登録をしていない者は、「パスポート」の氏名、入国日及び在留資格を記載している箇所を提出してください。 ただし、法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。

(注1) 東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨、平成30年大阪府北部を震源とする地震、平成30年北海道胆振東部地震、令和元年台風第15号又は令和元年台風第19号、令和2年7月豪雨において被災した志願者は検定料免除の申請が可能です。申請方法は下記 URL 参照。 <https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/information>

4. 試験期日及び試験会場

文学研究科試験場にて下記のとおり実施します。

試験科目		試験日	試験時間
専門試験	筆記試験	令和3年11月13日(土)	10:00～12:00(120分)
	口頭試験		13:00～

口頭試験には、提出した論文のコピーを持参してください。

5. 合格者発表

令和3年11月19日(金) 13:00

文学研究科掲示場(文法経本館1階教務係前)に合格者の受験番号を発表し、受験者全員に郵送にて合否を通知します。

(電話、メール等による合否の問い合わせには応じません。)

6. 入学手続

合格者は、下記いずれかの方法により必要書類を提出してください。

入学手続きに関する詳細は、合格者に別途通知します。

① 郵送による場合

受付期間：令和4年3月3日(木)～3月9日(水)

【3月10日までの消印のある書留速達郵便に限り受付期間後に到着した場合でも受理します。】

② 直接持参する場合

受付日：令和4年3月9日(水)

10:00～11:30 及び 12:30～17:00

【表4】社会人特別選抜

専攻	コース	受験分野	筆記試験
人 文 学 専 攻	哲 学	哲 学 哲 学 史	大学院博士前期課程で哲学および哲学史を研究するのに必要な外国語読解力（英語・独語のうちから1外国語を出願時に選択、辞書持込可）と基本問題についての思考力と基礎的知識を問う。
		科 学 技 術 社 会 論	科学技術社会論に関する諸問題についての思考力と基礎的知識を問う。英語による論述能力の判定を含む。
		臨 床 哲 学	大学院博士前期課程で臨床哲学を研究するのに必要な思考力を問う。
		中 国 哲 学	中国思想・文化に関する学力、および漢文の読解力を試験する。
		インド学・仏教学	インド学・仏教学を研究する上に必要な専門知識や方法論、およびサンスクリット語の語学力（語学辞書は持込可）の試験。一部の設問は、サンスクリット語・パーリ語のうちどちらかを選択できる。
	グローバル ヒストリー ・ 地 理 学	東 洋 史 学	東洋史に関する基本的知識と外国語（英語・現代中国語・古典漢語のうちから1つを出願時に選択）の試験を行う【英語は、中辞典程度の辞書持込可】。
		西 洋 史 学	西洋史学に関する知識と論述能力、また外国語史書（英語・独語・仏語のうちから1外国語を出願時に選択、辞書持込可）の読解力を判定する。
		人 文 地 理 学	人文地理学に関する幅広い教養を含め、大学院博士前期課程で修学するのに必要な知識、読解力、分析力を判定する。人文地理学の英語文献の読解力の判定を含む（中辞典程度の英語辞書持込可）。
	文 学	中 国 文 学	中国文学・中国語の学力を総合的に試験する。
		英 米 文 学	大学院博士前期課程で英米文学を研究するのに必要な英語読解力、英語文章表現力、文学作品の分析、鑑賞力を試す。
		ド イ ツ 文 学	大学院博士前期課程で修学するのに必要なドイツ文学・語学についての基礎知識、ならびにドイツ語の読解力・表現力および総合力を問う。
		フ ラ ン ス 文 学	大学院博士前期課程で修学するのに必要なフランス文学・語学についての基礎知識、ならびにフランス語の読解力・表現力および総合力を問う。

注1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします

専攻	コース	受験分野	筆記試験
人文学専攻	文学	テキスト環境論	文学テキストとそれを取り巻く〈環境（コンテキスト）〉を研究するのに必要な基礎知識、理解力、テキスト分析力（英語文献の読解を含む）を試験する。
	比較・対照言語学	比較・対照言語学	大学院博士前期課程で言語学を研究するのに必要な英文読解力、英語文章表現力、英語資料の分析力、言語学に関する基本的知識を試す。
日本学専攻	基盤日本学	現代日本学	大学院博士前期課程での修学に必要な現代日本学に関する専門知識、理解力、分析力を試験する。試験の一部に英語文献もしくは史料の読解を含むことがある。
		日本史学	日本史に関する基本的知識、および史料（古文書を含む）の読解能力を試す。
		考古学	大学院博士前期課程で考古学を研究し、かつ修士論文を作成するのに必要な基礎学力を判定する。考古資料の分析力、考古学にかかわる文字資料・英語の読解力の判定を含む。遺物実測道具を持参すること。
		日本文学・日本語史学	大学院博士前期課程で修学するのに必要な知識、読解力、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。「日本文学」・「日本語史学」両分野に共通する試験（古文を読解する問題を含む）を行う。
		基盤日本語学	大学院博士前期課程で修学するのに必要な日本語学についての知識と分析力、外国語（英語）読解力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。
芸術学専攻	アート・メディア論	アート・メディア論	<p>(1) アート、メディア、文化政策に関する基礎知識を問う。</p> <p>(2) ①具体的な画像（アートワーク、メディア上のイメージなど）や言語テキスト等に基づいて、アート、メディア、パフォーマンスに対する鑑賞能力および分析力を問う。</p> <p>②アート・プロジェクトや文化イベントなどの基本的方針の立て方や実施方法、またその社会的意義についての着想力、構想力、思考力などを問う。</p> <p>[(2) については上記二群 (①②) の問題から複数問選択]</p>

注 1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注 2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

専攻	コース	受験分野	筆記試験
芸術学専攻	美学・ 文芸学	美学	大学院博士前期課程で修学するのに必要な美学についての知識、読解力、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。
		文芸学	大学院博士前期課程で修学するのに必要な文芸学についての知識、読解力、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。
	音楽学・ 演劇学	音楽学	大学院博士前期課程で修学するのに必要な音楽学についての知識、読解力（英語の読解問題を含む）、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。
		演劇学	大学院博士前期課程で修学するのに必要な演劇学についての知識、読解力（英語もしくは古文書の読解問題を含む）、分析力、および修士論文を作成するのに必要な文章力・総合力を試す。
	日本東洋 美術史・ 西洋美術史	日本東洋美術史	大学院博士前期課程で修学するのに必要な日本・東洋美術史に関する知識、美術作品に対する見方や考え方を問う試験。
		西洋美術史	大学院博士前期課程で修学するのに必要な知識、能力を試す。美術史学全般に関する試験と共に、西洋美術史の専門試験（英文の読解問題を含む）を行う。

注1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

各コース・受験分野等問い合わせ先

(大阪大学豊中地区代表電話番号) 06-6850-6111

※内線番号が5000番台のものはダイヤルインの番号で、学外からは06-6850-5×××で利用できます。

専攻	コース	受験分野	内線番号
人文学専攻	哲学	哲学 哲学史	5095
		科学技術社会論	5096
		臨床哲学	5128
		中国哲学	5097
		インド学・仏教学	2125
	グローバルヒストリー ・ 地理学	東洋史学	2138
		西洋史学	5105
		人文地理学	5678
	文学	中国文学	5112
		英米文学	5113
		ドイツ文学	5116
		フランス文学	5117
		テクスト環境論	6413
比較・対照言語学	比較・対照言語学	2156	
日本学専攻	基盤日本学	現代日本学	5135
		日本史学	5101
		考古学	5106
		日本文学・日本語史学	5111
		基盤日本語学	5134
芸術学専攻	アート・メディア論	アート・メディア論	6347/ 6548
	美学・文芸学	美学	5122
		文芸学	5123
	音楽学・演劇学	音楽学	5124
		演劇学	2177
	日本東洋美術史・ 西洋美術史	日本東洋美術史	5126
西洋美術史		5127	

令和3年 8月発行

大阪大学大学院文学研究科

教務係

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5

電話 06-6850-5085・5084

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/>